

テーマ：『 環境を守ろうとする実践力を身につけた生徒の育成』

栃木県立 佐野高等学校附属中学校 Tel. 0283-23-0161 担当者： 出口 伸雄



学校林の活用と整備



足尾での植樹体験



サツマイモ栽培



緑のカーテン作り

■実践内容：

本校では、主に総合的な学習の時間(未来探究プログラム)や生徒会活動を通して、1～4の内容を計画的に実施してきた。

- 1 学校林の整備と活用
県南環境森林事務所所員による「森林について」の講話と下草狩り、落ち葉集め。落ち葉で自然の堆肥をつくる活動。
- 2 足尾での植樹体験
佐野市出身の田中正造についての学習。足尾で、砂防事業についての説明と植樹活動。
- 3 サツマイモ栽培
学校の敷地内の空き地を畑に開墾し、サツマイモの植え付け、栽培、収穫、調理活動。
- 4 緑のカーテン作り
生徒会(環境委員会、ボランティア委員会)が中心となり、各学級でゴーヤによる緑のカーテン作り。

■実践成果：

- 1 下草狩りと落ち葉集めという活動をとおして、荒れた状態の学校林の森林環境の改善を図るとともに、落ち葉で自然の堆肥をつくる活動をとおして、落ち葉の分解によって植物の生育に必要な土壌が作られることを学ぶことができた。
- 2 田中正造の学習、砂防事業、植樹体験をとおし、自然の大切さと環境問題の重要性を学ぶことができた。
- 3 畑の開墾、サツマイモの植え付け、栽培、収穫、調理をとおし、望ましい勤労観や収穫の喜び、自然に関する豊かな感受性を身につけることができた。
- 4 ゴーヤによる緑のカーテン作りをとおし、環境に対する実践力を培うことができた。

■実践ポイント：

上記実践内容は、本校の教育目標具現化である様々な教育活動の一つである。特に、環境について考え、守ろうとする実践力を身につける生徒を育成することは、目指す生徒である「国際人として活躍できる真のリーダー」にとって必要な資質・能力・態度の一つであると考えます。

